

授業科目	基礎看護技術				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	増本 由紀子										
授業概要	<p>看護技術の基礎を学び、養護教諭として児童・生徒に身体的健康問題が生じた場合の援助方法に関する知識と技術を養うことを目的とする。</p> <p>感染防御技術を中心とした「健康と環境」、健康状態を判断するための「フィジカルアセスメント」、学校現場で遭遇することの多い健康問題に対する「救急処置」について基礎的な知識と看護技術について解説し、演習する。学校において信頼性のある養護診断と救急処置、及び保健指導等を行うための、科学的根拠ある看護技術を修得する。</p>										
授業形態	講義と演習	授業方法	実習、ICT（動画視聴、自己練習）								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>看護学での学びを基に、基礎看護技術を身につけ、学校現場での実践につなげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校現場における感染防御の視点が理解でき、感染を防御するための方法について説明および修得できる。 2. フィジカルアセスメントについて理解でき、正しい方法について説明および修得できる。 3. 身体面における緊急事態発生時の対応が理解でき、救急処置について説明および修得できる。 4. 学校現場で遭遇することの多い傷病に対する援助方法を説明できる。 										
理想的レベル	<p>標準的なレベルを達成した上で、技術向上について自分からその方法を創意工夫できる。</p> <p>感染防御技術については、身に付けた技術を日常生活において自ら実践することができる。</p> <p>フィジカルアセスメントを的確に行い、結果をもとに養護診断を行って養護教諭の活動過程を考察できる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	30%				実技による						
小テスト											
レポート	10%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	10%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21512J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
<p>予習：テキストを事前に読む。該当する医学概論、解剖学、微生物学、看護学について復習する。</p> <p>復習：確認問題を解き知識を整理する。推薦動画を視聴しバイタルサイン測定や包帯法等の技術練習をする。</p>										4	

授業計画	
第1回	オリエンテーション 健康と環境(1)：感染防御技術① スタンダードプリコーション
第2回	健康と環境(2)：感染防御技術② 滅菌と消毒
第3回	健康と環境(3)：感染防御技術③ 無菌操作、環境整備
第4回	健康と環境(4)：保健室と病床の環境整備、ベッドメイキング
第5回	フィジカルアセスメント(1)：観察と記録
第6回	フィジカルアセスメント(2)：バイタルサイン測定① 体温、脈拍、呼吸、酸素飽和度
第7回	フィジカルアセスメント(3)：バイタルサイン測定② 血圧
第8回	基礎看護技術のまとめ①：技術試験（ベッドメイキング）
第9回	フィジカルアセスメント(4)：頭頸部のアセスメント
第10回	フィジカルアセスメント(5)：胸部・腹部のアセスメント
第11回	フィジカルアセスメント(6)：意識レベル・神経系のアセスメント
第12回	フィジカルアセスメント(7)：身体計測、環境測定
第13回	救急処置(1)：内科的症状①（呼吸困難・発熱・嘔吐・下痢）、罨法・吐物処理
第14回	救急処置(2)：外科的症状（骨折・脱臼・捻挫・熱傷・出血）、包帯法
第15回	基礎看護技術のまとめ②：技術試験（バイタルサインの測定）
テキスト	「養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護」（東山書房） 「看護がみえる フィジカルアセスメント」（メディックメディア）
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	「保健室で役立つステップアップフィジカルアセスメント」（東山書房） 「基礎看護技術」（医学書院） 「看護技術がみえる Vol.1 基礎看護技術」（メディックメディア） 「看護技術がみえる Vol.2 臨床看護技術」（メディックメディア） 必要に応じて資料を配布、参考動画を紹介しします。
課題に対するフィードバックの方法	技術演習は教員が指導助言を行いながら練習し、質問も受け付けます。 技術試験の前には実習室等での練習期間を設けます。成績発表後に評価点分布図を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	「看護技術」は、解剖生理学、医学概論、微生物学、看護学等の医学系科目の知識と理解に基づくため、医学系科目の修得内容の確認して学ぶことで安全で効果的な看護技術の修得につながります。 また、「看護技術」を正しく身につけるためには、講義での演習に加えてテキストや推薦動画を活用して繰り返し練習して、「看護臨床実習（病院実習含）」と「養護実習」に備えてください。